

特記仕様書（建設工事）

1. 本特記仕様書は、横隈山古墳公園整備工事に適用する。

2. 工事施工に関しては、福岡県県土整備部発行「土木工事共通仕様書」・「土木工事施工管理の手引き」を適用する。

3. 暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置について

- (1) 小郡市が発注する建設工事（以下「発注工事」という。）において、暴力団員等による不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。
- (2) (1) により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。
- (3) 発注工事において、暴力団員等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

4. 現場代理人等の腕章の着用について

請負者は、現場における責任の自覚と意識の高揚、ならびに現場作業員及び一般住民から見た責任者の明確化を図るため現場代理人及び主任技術者（監理技術者）には、腕章の着用を義務付けるものとする。なお、腕章の仕様については監督員と協議するものとし、着用箇所は、腕の見易い所を原則とする。なお、腕章のほかにも名札を着用することが望ましい。

5. 工事实績情報サービス（CORINS）について

請負者は、契約金額が500万円以上の場合は、CORINS（（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）の工事实績情報サービス）への登録をしなければならない。登録の種類及び時期は、以下のとおりとする。

○請負金額500万円以上の工事

受注登録・・・・・・契約後10日以内

変更登録・・・・・・変更があった日から10日以内

竣工登録・・・・・・工事完成后10日以内

6. 誓約書（業者間契約）について

下請施工を行う場合、請負者は、業者間契約（元請と下請間、下請と下請間）における損害賠償請求などのトラブル回避のため、「誓約書（業者間契約）」を徴収しなければならない。

なお、この「誓約書（業者間契約）」は、市への提出は必要ない。

7. 施工体制台帳の提出について

下請施工を行う場合は、請負者は施工体制台帳を提出しなければならない。

報告された下請負人が暴力団関係業者と確認された場合、契約約款に基づき、市は請負者に対して下請契約解除要求を行う。請負者が正当な理由なく下請契約解除要求に応じない場合、請負契約解除となる。

8. 専任を要する主任技術者の兼務

請負代金の額が3,500万円（建築一式工事の場合は7,000万円）以上の工事のうち、工事の対象となる工作物に一体性若しくは連続性が認められる工事、又は施工にあたり相互に調整を要する工事で、工事現場の相互の間隔が5km程度の近接した場所において同一の建設業者が施工する場合は、主任技術者は2箇所まで建設工事を管理することができる。

9. 現場代理人の兼務

次の場合において、現場代理人の兼務をすることができる。

- 小郡市発注工事において、請負金額が600万円未満の2件の工事
- 工事現場の相互の間隔が5km程度の近接した場所であり、兼務しても安全管理、工程管理等の工事現場の運営、取締り及び権限の行使に支障がないと認められる工事で、かつ、監督員と常に携帯電話等で連絡を取れる場合の2件の工事

10. 施工条件について

仮設工（足場工）の設置・撤去については任意仮設とする。

横隈山古墳公園整備工事

特記仕様書

1. 仮設工

- (1) 敷地外周足場の設置の際は、設置位置について隣地所有者の立会いの下に位置決めを行う。
- (2) 外周足場に設ける養生シートは、隣地への土砂流出防止及び隣地のプライバシー確保を目的とする目隠しシートの役目を担うことを配慮し、設置を行う。
- (3) 仮設路は法面切土の搬出及び空洞ブロック擁壁、L型擁壁、U形側溝、U形側溝柵等の資材運搬路としても使用する。

2. 撤去工

- (1) 既設コンクリートブロック擁壁の天端部の取壊しの際は、擁壁のクラックの発生が無いよう管理を十分行う。
- (2) 天端部取壊しの後は、雨水が擁壁の裏側に浸入しないよう、養生シート等で対策を図る。

3. 樹木整理工

- (1) 遺構上での伐採作業となるため、遺構の毀損が無いよう配慮して施工を行う。
- (2) 伐採樹木の搬出・運搬の際は、道路及び隣地への枝葉の落下が無いよう配慮する。

4. 造成工

- (1) のり面上での切土作業は人力となるため、滑落等が無いよう安全管理を行う。
- (2) 隣地への土砂の飛散を極力抑えるよう施工の際に配慮する。
- (3) 墳丘周辺の切土は、洗堀された墳丘の修復盛土として利用することから、良質な土を保管しておく。
- (4) 法面勾配は 30° 未満とする。

5. 雨水排水工

- (1) 集水柵 B と既設排水管 (φ 250) とを接続する。

6. 植栽工

- (1) 植生シートの法肩部の施工は U 形側溝 B に接するように行う。

7. 園路広場工

- (1) アスファルト舗装施工範囲にはカーブミラー、九電柱があるので、施工において破損等が無いよう細心の注意を払って工事を行う。

8. 管理施設工

- (1) 転落防止柵及び門扉の施工に際しては、法肩の状況を確認し、法肩の崩落が無いよう施工を行う。